

団体名	愛知県セパタクロー協会						
事業名	愛知 セパタクロー国際体験交流会						
実施期間	2023/9/10～2024/1/7						
場 所	至学館大学						
参加者数	外国人留学生	日本人学生	地域住民 (留学生以外の外国人)	地域住民 (外国人除く。地域のスタッフ含む)	申請団体スタッフ	その他	合計
	7	132	48	52	47	50	336名

<実施内容>

東南アジア発祥のスポーツ「セパタクロー」の体験を通じた、県内の日本人学生および留学生など外国籍住民によるスポーツ交流会を開催した。

まず、計6回の交流体験会を至学館大学にて行った。具体的には、セパタクローの基本動作であるアタック、サーブ、レシーブなどを共に学び、試合形式のゲームを楽しんだ。その後、全国のセパタクロー選手を交えた交流大会を開催した。男子、女子、初心者の3つのカテゴリでトーナメントを実施した。併せて、アジア競技大会における国際交流を考える座談会も開催した。現役日本代表選手、元国際審判員の方々に登壇いただき、国際大会への参加経験および選手同士の交流、大会を支える裏方としての貢献や国際チームとしての仕事ぶり、などについて語っていただいた。参加者を大いに啓蒙いただき、互いに交流を深めた。

体験交流会の参加者は、県内の大学に所属する留学生および日本人学生、豊田市在住のインドネシア人、経験者のミャンマー人、などである。アジア競技大会組織委員会関係者や、自治体の国際交流関係担当者の参加もみられた。交流大会では、現役日本代表選手16名を含む130名以上の参加者が集まり、中でもミャンマー人が3チーム、浜松の日本語学校から1チーム、個人参加のタイ人およびインドネシア人留学生のエントリーがあり、全部で4チーム22名という、国内では過去最多の在住外国人が参加するセパタクロー大会となった。

<記録写真>



プレー体験の様様



交流体験会の集合写真



交流大会の様様

<参加者からのコメント>

殷健杰さん（中国）/ Yin Jianjie (China)

中国出身の私は、杭州アジア大会がきっかけで、セパタクローという東南アジアで流行しているスポーツを知りました。初めて実際に体験でき、すごく貴重な体験でした。完全な初心者である私にも、基本の蹴り方やルールなどが短時間で身につきました。競技だけでなく文化等も異なる国籍の方と交流できました。機会があれば、さらに多くの方がアジア各国伝統的なスポーツを体験できる場を作りたいと思います。

バラニさん（インド）/ Sekar Baranitharan (India)

Playing sepak takraw in Japan as a foreigner was really cool. I made friends with local players who taught me a lot about their style of playing. The place was great for playing, and we had fun competing. Off the court, we shared cultures and became friends. It was a reminder of how sports can bring people together, no matter where they're from. I am looking forward more event like this in the future.

英語名称（英語版作成用）

団体名	Aichi Sepaktakraw Association
事業名	International SepakTakraw Trial Event in Aichi 2023